

議会だより しずし /

No.192

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11

ホームページは「酒々井町議会」で検索してご覧ください ☎043-496-1171

令和元(2019)年8月1日発行

子ども の 笑顔 は地域の 宝



岩橋保育園夕涼み会

7月13日に岩橋保育園で保護者会主催の夕涼み会が開かれました。子どもたちは輪投げなどのゲームで成功すると、友だちと喜んで歓声を上げていました。

130th
2019

千葉県
酒々井町誕生130年!!

日本で一番古い町・酒々井

条例改正や補正予算などの議案審議・・・P2~P4

委員会、本会議での審議結果・・・・・・・・P5~P6

農業問題や教育施設整備、福祉問題
など議員14名が町政を問う・・・・・・・・P8~P15



酒々井中学校体育館の改修工事は本年度に設計業務が行われます

中学校体育館の

屋根改修が一步前進

国から事業費の補助が決定

令和元年6月定例会で上程された議案は次のとおりです。

議案

〔議案第1号〕

地方税法等の改正に伴い
条例を一部改正

地方税法等の改正に伴い、町税賦課徴収条例の一部を改正し、個人町民税、法人町民税、町たばこ税、軽自動車税の規定を改正するもの。
※全員賛成で可決

〔議案第2号〕

介護保険法施行令の改正に伴い
条例を一部改正

介護保険法施行令の改正に伴い、低所得者に対する介護保険

料の軽減措置の拡大に関する保険料額の規定を整備するため、条例を一部改正するもの。
※全員賛成で可決

〔議案第3号〕

県市町村総合事務組合の
規約を一部改正

香取市東庄町病院組合が解散し、組合の組織団体が減少することから、組合格約の改正を行うもの。
※全員賛成で可決

〔議案第4号〕

一般会計を増額補正

今回の補正は、本年10月の消費税率引き上げに際し、景気対策の一環として国が補助をして



中学校のグラウンド拡張事業は用地買収に伴う不動産鑑定を予算化

各自治体が発行するプレミアム付商品券事業、中学校屋内運動場改修工事設計業務およびグラウンド拡張に伴う不動産鑑定評価業務、小中学校のタブレット使用に要する経費、緊急風しん抗体検査事業、下水道事業への繰出経費など、緊急を要する経費等1億5864万6千円を増額するもの。
※賛成多数で可決

<一般会計補正予算額>

補正前	65億5832万8千円
補正額	1億5864万6千円
合計	67億1697万4千円

【議案第5号】
下水道事業会計を増額補正

資本的支出は、酒々井地区、本佐倉地区、東酒々井地区の改修工事を行うもので、資本的収入は、その費用を一般会計補助金で繰り入れるため、2926万円増額するもの。
※全員賛成で可決

<下水道事業会計補正予算額>

資本的収入	補正前	1億 3467万 3千円
	補正額	2926万円
	合計	1億 6393万 3千円
資本的支出	補正前	2億 3063万 2千円
	補正額	2926万円
	合計	2億 5989万 2千円

【議案第6号】
プリミエール増築工事に
関する契約の承認

プリミエール酒々井に世代間の交流スペースおよび多目的な利用ができる会議室を設けるための増築工事について、令和元

年5月17日に制限付き一般競争入札を実施した結果、国井建設株式会社が落札し、1億4300万円で仮契約を締結したもので、議会の議決を求めるもの。
※賛成多数で可決



プリミエールの増築は令和2年3月完成予定

報告

【報告第1号】
各事業の繰り越す額が確定
したので報告するもの

事業の進捗状況や国の補正予算の活用等の理由により、「地方創生拠点整備交付金事業」、「大室台小学校グラウンド改修事業」をはじめ、「防災資機材

等備蓄施設建築事業」や「道路の改良事業」など繰越明許費を設定した21事業について、翌年度に繰り越す額が確定したため、報告するもの。



地方創生拠点整備交付金事業を活用した飯積の(仮称)まるごとすいはいは開業準備中

【報告第2号】
介護保険システム改修業務の繰り越し

介護保険システム改修業務に関する繰越明許費を設定し、翌年度に繰り越す額が確定したため、報告するもの。

【報告第3号】
町道改良事業の事故繰越

「町道02・009号線道路改良事業」（酒々井地先）、「町

【報告第4号】
水道事業の繰越処理

平成30年度酒々井町水道事業会計予算のうち、「尾上浄水場配水池築造工事施工監理業務委託」、「東酒々井地先配水管布設替詳細設計業務委託(その6)」、「尾上浄水場配水池築造工事」、「東酒々井地先配水管布設替工事(5工区)」、「東酒々井地先配水管布設替工事(6工区)」について、予算繰越の処理をしたため、報告するもの。

道02・012号線道路改良事業（飯積地先）について、平成30年度中に事業執行が困難になったことから、事故繰越の処理をしたため、報告するもの。

【報告第5号】
下水道事業の繰越処理

平成30年度酒々井町下水道事業会計のうち、「飯積地区下水道整備事業」、「尾上地区下水道整備事業」について、予算繰越の処理をしたため、報告するもの。

議案への
反対討論

【議案第4号】
消費税の増税を前提とした商品券事業に反対

竹尾 忠雄 議員

今回の補正予算でプレミアム付商品券事業として、9677万6千円計上されているが、これは10月に予定されている消費税の増税を前提としている。消費税を10%に増税することに反対の方は世論調査でも50%を超えている。そして、現在の景気動向は消費税を増税できる状況ではないというのは、政府の統計からも明らかである。

また、この増税は低所得者ほど負担が重い税になっている。安倍首相は、「消費税はただただ分全部お返しします」と国会で答弁しているが、プレミアム付商品券で増税分を返すくらいなら、増税を中止すべきである。税は負担能力に応じて負担すべきと考え反対する。

議案への反対論

【議案第6号】

プリミエールの景観が損なわれる増築に反対

竹尾 忠雄 議員

「景観が悪くなる」「財政的にも借用した方が軽減できる」「交流スペースの活用目的が明確ではない」以上の理由で共産党議員団は反対する。

プリミエールのエントランスホールは大きなガラスで明るく景観が良く、利用者が新聞を読んだりくつろいだりしている。本事業は、ガラス面のところに交流スペース（153㎡）、会議室（72㎡）、延床面積（225㎡、約68坪）の計画である。景観が悪くなることは町も認めている。交流スペースや会議室が必要ならば町社会福祉協議会が借用してきた中央台1丁目の建物を借用した方が財政的にも軽減できる。交流スペースの活用（多世代の交流、児童館的な活用）につ

いては、6月11日の教育民生常任委員会で「今後検討する」と答弁しており、増築する目的が不明確である。国からの補助金があるからと言って「箱モノ」ありきで税金を使うことは認められない。

議案への賛成討論

【議案第4号】

厳しい財政状況のなか未来を担う子どもたちの教育費を補正することに賛成

金塚 学 議員

大変厳しい財政状況の中で国からの交付金を受け体育館の屋根改修を行うこと、また、包括連携協定を結ばれた千葉工業大学から寄贈されたタブレット端末を子どもたちが各小中学校で利用できるように整備するなど、未来を担う子どもたちのための教育費について、補正をしたことを高く評価し賛成する。

【議案第4号】

中学校体育館屋根改修の意見書も提出されており賛成

御園生 浩士 議員

令和元年度酒々井町一般会計補正予算（第1号）は、中学校施設整備管理事業費1500万円余りを含むもので、かねてより問題となっていた酒々井中学校体育館屋根の改修に伴う、設計費用が盛り込まれたものである。体育館は築40年以上経過し、中学生議会でも度々雨漏りが指摘され、体育の授業や部活が思うようにできず、改修の要望が出されていた。また、災害発生時には、避難所としての役割も担う場所である。

平成31年3月議会において、早期に改修を求める意見書が議員有志により提出され、賛成多数で可決された。改修に伴う国からの交付金約5300万円も内示されたところであり、酒々井中学校体育館屋根の改修を早期に実現することを求めて賛成する。

【議案第4号】

プレミアム付商品券は低所得・子育て世代の一助となることから賛成

小早稲 美穂 議員

プレミアム付商品券事業は、消費税10%への増税を受け0歳から3歳の子どものいる世帯、住民税非課税世帯、低年金世帯と制限付きだが、購入額4000円で、額面5000円のプレミアム付商品券（上限販売額20000円）事業である。低所得者、子育て世代を代表して、1000円でも助成していただきたいと思ひ賛成する。

多くの方々から要望があった、プリミエール酒々井に高齢者、子ども、乳幼児と保護者など多世代の人々や地域住民が気軽に立ち寄れる交流スペースと会議室、児童館的役割を持つスペースを増築するための契約である。少子高齢化時代では、子育て

世帯や高齢者等の世代間を超えた地域のつながりが重要であり、子どもから高齢者、障害者まで地域住民のだれもが集える憩いの場が必要である。

地域の伝統行事の伝承や郷土の歴史・文化を語り継ぐ場としての活用など幅広く多くの方々が集える場所にしてほしい。施設が整備をされることにより子育てにやさしい町としてまた一歩前進できると感じている。今後も憩いの場所が計画的に整備されること期待し賛成する。

【議案第6号】

施設の充実が図られることから賛成

越川 廣司 議員

プリミエール酒々井は文化芸術をはじめ、生涯学習の向上および推進を図るための文化ホールと図書館を併設した文化施設である。

今回の増築工事に係る工事請負契約は、新たに世代間の交流スペースや多目的に利用できる会議室を設けるためであり、プリミエール酒々井がさらに充実されることから賛成する。

各常任委員会での審査結果

※件名は一部省略しています。

◎…委員長
○…副委員長

総務常任委員会 ※議会事務局、総務課、企画財政課、税務住民課、委員 ◎地福／○御園生
会計室、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価委員会、その他の事務についての審査を担当 江澤／齊藤
小早稲

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	税賦課徴収条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第4号	一般会計補正予算 委員会担当分野	4	0	原案可決

教育民生常任委員会 ※住民協働課、健康福祉課、委員 ◎川島／○白井
教育委員会についての審査を担当 佐藤／内海
金塚／大石

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第2号	介護保険条例の一部改正	5	0	原案可決
議案第4号	一般会計補正予算 委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第6号	工事請負契約の締結（プリミエール酒々井増築工事）	4	1	原案可決

経済建設常任委員会 ※経済環境課、まちづくり課、委員 ◎須藤／○竹尾
上下水道課、農業委員会についての審査を担当 高崎／越川
酒瀬川

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第4号	一般会計補正予算 委員会担当分野	3	1	原案可決
議案第5号	下水道事業会計補正予算	4	0	原案可決

※議案の内容は2ページから3ページをご覧ください。

本会議での 議決結果

議案と議決結果 賛成・・○ 反対・・× 議長は採決に加わりません

番号	件名	本会議の採決結果																
		採決結果	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	須藤	御園生	川島	齊藤	内海	佐藤	江澤(議長)	竹尾	地福	越川	高崎
1	税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
2	介護保険条例の一部を改正する条例の制定	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
3	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合同約の一部を改正する規約の制定に関する協議	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
4	一般会計補正予算(第1号)	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○
5	下水道事業会計補正予算(第1号)	可決 (賛15・否0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○
6	工事請負契約の締結 (プリミエール酒々井増築工事)	可決 (賛13・否2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	×	○	○
報告1	一般会計予算繰越明許費繰越計算書	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告2	介護保険特別会計予算繰越明許費繰越計算書	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告3	一般会計予算事故繰越し繰越計算書	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告4	水道事業会計予算繰越計算書	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告5	下水道事業会計予算繰越計算書	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※件名は一部省略しています。なお、報告は採決をしません。

※議案の内容は2ページから3ページをご覧ください。



議会だより編集特別委員会のメンバーが受講しました

令和元年7月5日に県町議会議長会主催の議会広報研究会に議会だより編集特別委員会のメンバーが参加しました。

研修では、広報サポーターの芳野政明先生から議会だよりの役割と意義の講演をしていただきとともに、各市町村の議会だよりを芳野先生が講評し、効果

手に取って もらえる議会報に 魅力ある紙面づくりを学ぶ



講師で広報サポーターの芳野先生

的なタイトルの付け方や、目を引くレイアウトなどの技術的な指導を受けてきました。

また、議会だよりにおいて先進的な取り組みをしている市町村議会の事例を紹介いただくことで、住民に読まれ、伝わる工夫について、学ぶことができました。

今後は、この研修で学んだことを生かしながら、町民の皆様にも満足いただけるような紙面づくりに取り組んでまいりたいと思います。

議会の

ことば

質疑と討論

議会だよりしすいでは、より分かりやすく読みやすい紙面を目指し、議会のことば等を随時紹介しています。

ここでは、「質疑と討論」について紹介します。

質疑とは

質疑とは、議題となつている案件について、疑問点を聞くもので、町長から提出された案件には町長に、議員から提出された案件はその議員に対して行うこととなります。

質疑の回数

質疑は、同一議員が同一の議題について、3回を超えることができないとされています。

これは、無制限に質疑をしてしまうと、会議の能率的な進行を妨げることになるので、これ

を防止するためのものです。

討論とは

討論とは、現に議題になっている案件に対して、賛成または、反対の意見を表明することで、その目的は、自分の意見を他の議員に賛同させることです。

単純に賛成、反対を表明するのでは討論とは言えず、発言の冒頭に賛否を明らかにし、その理由を明確に述べるのが望ましいとされています。

一人一回の原則

討論は、同一議員が同一議題について、1回に限り賛否の意見を述べることが原則とされています。

また、討論は賛成者と反対者なるべく交互に発言させるようにします。

9月定例会のお知らせ

次の定例会は、9月3日に開会する予定となっており、会期の概要は、8月27日に開催予定の議会運営委員会で決まりました。会期の概要が決まりましたら、町議会のホームページやスターでお知らせします。

また、本会議は、一般に公開され、傍聴することができ、傍聴席の定数は25名となっております。なお、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

☎ (496) 1171

(内線251、252)

スマートフォンで 広報が 読める



マチイロ

マチを好きになるアプリ

App Store からダウンロード

ANDROID アプリ Google play

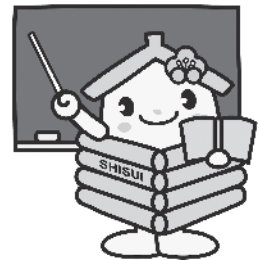


ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、町の執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。6月定例会の一般質問は、6月13日と14日の2日間で14名の議員が行財政全般にわたり、今後の対応策などについて質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、町のホームページからもご覧いただけます。6月定例会の会議録は、9月上旬以降、閲覧することができます。



酒々井町マスコットキャラクター
井戸っこ（しすいちゃん）

No.1 金塚 学 議員・・・・・・・・・・P 9

- ◆町民憲章に文化の文言を
- ◆町の活性化推進
- ◆安心・安全で住みよいまちづくりの推進
- ◆教育環境の整備 ◆子育て支援

No.2 越川 廣司 議員・・・・・・・・・・P 9

- ◆歴史と文化を活かしたまちづくり
- ◆安全、安心なまちづくり
- ◆高齢者にやさしいまちづくり

No.3 御園生 浩士 議員・・・・・・・・・・P 10

- ◆酒々井中学校体育館の屋根改修予算の見通し
- ◆青少年交流の家の経過
- ◆水道管の布設替え
- ◆町職員の働き方改革

No.4 高崎 長雄 議員・・・・・・・・・・P 10

- ◆町内の河川の現況と整備計画
- ◆有害鳥獣対策

No.5 大石 法子 議員・・・・・・・・・・P 11

- ◆教職員の働き方改革
- ◆町民の健康推進

No.6 酒瀬川 芳子 議員・・・・・・・・・・P 11

- ◆京成宗吾参道駅のエレベーター設置
- ◆生涯生活センターの有意義な活用

No.7 川島 邦彦 議員・・・・・・・・・・P 12

- ◆本佐倉城と周辺整備計画

No.8 佐藤 修二 議員・・・・・・・・・・P 12

- ◆ゾーン30の周知方法
- ◆ICアクセス道路「墨・七栄線」の現状
- ◆都市計画道路3.4.26号線「上野作跨線橋」
- ◆防犯ボックス事業

No.9 齊藤 博 議員・・・・・・・・・・P 13

- ◆高齢者介護の施策

No.10 小早稲 美穂 議員・・・・・・・・・・P 13

- ◆感震ブレイカーへの助成 ◆公園の整備
- ◆防災協定の構築 ◆自主防災会の活動
- ◆地域防災計画 ◆防災井戸の設置

No.11 須藤 伸次 議員・・・・・・・・・・P 14

- ◆タウンバスの運行計画
- ◆イノシシ・タヌキ・ハクビシンの捕獲

No.12 白井 則邦 議員・・・・・・・・・・P 14

- ◆馬橋の盛り土 ◆子どもの遊び場
- ◆空き家対策

No.13 竹尾 忠雄 議員・・・・・・・・・・P 15

- ◆教育環境の整備 ◆土地の寄付の規定
- ◆町地域創造発信拠点施設建設工事
- ◆馬橋地区の土砂崩落
- ◆宗吾参道駅のバリアフリー化 ◆イノシシ対策

No.14 地福 美枝子 議員・・・・・・・・・・P 15

- ◆学校給食費の負担軽減
- ◆高齢者の「聴こえ」の対策 ◆病児保育の検討

問 町民憲章に歴史と文化を大切に
「文化」の文言を

答 節目の年となる今年度に検討して
いく必要があると考えている



金塚 学 議員

問 町民憲章は、昭和49年11月3日に
制定され45年の月日が流れた。豊かな
自然環境と長い歴史に育まれた酒々井
町をこれからも持続可能なまちづくり
として進めていくためには、この町の
長い歴史と幾世代もの人々に伝えられ
てきた、人々の営みと文化を継承して
いくことも大切と考えるが、古い歴史
と伝統を持つ酒々井町にとって文化財
の保護も重要であることから町民憲章
の中に歴史と文化を大切にしと「文化」
の文言を入れるべきと考えるが、町の
考を伺う。

問 駅周辺に住宅地開発を推進すべき

京成酒々井駅周辺の中心市街地の高度利
用の推進が必要であると考えており、
生産年齢人口の維持を目指すのであれ
ば、若い年齢層が入居しやすい住宅地
の開発が望まれるが、町の考えを伺う。

企画財政課長 当町は、駅、高速道路
など優れた交通環境、さらに、上下水
道整備率の高さや教育環境が充実して
いる。現在、施策展開している高水準
な少子高齢化に向けた各種対応策の効
果もあり、他の地域にはない町独自の
強みを発揮できる可能性がとても多く
秘められており、地域住民や関係地権
者などの皆様の理解と協力を得ること
が前提となるが、人間のデベロッパ
ー等を積極的に活用し、人口増加施策を
挑戦的に展開していくことも必要では
ないかと考えている。

問 現在、実施している住宅問題の対
策と喫緊の課題は。

まちづくり課長 年々空き家が増えて
いる状況であるが、利活用が可能な空
き家を生かすことを検討している。

問 本佐倉城跡の保存整備に係る
進入路の完成時期は

答 進入路は令和2年度末の完成を
目指している



越川 廣司 議員

問 進入路の完成時期を伺う。また、
根古谷地区内の主要道路の整備につい
ても併せて伺う。

まちづくり課長 本佐倉城跡の進入路
は令和2年度末の完成を目指してい
る。また、主要道路は現道を有効活用
した整備を検討している。

問 未指定地の追加指定について、地
元等に未だ話がない。どのような協議
をしてきたのか伺う。

生涯学習課長 本佐倉城跡の外郭であ
る荒上、向根古谷の未指定地は、整備
計画等で長期的課題として位置づけら
れている。しかし、対象面積が広いこ
とや現在、駐車場等の整備を行って
いることもあり、指定地の追加方法や工
程等について、検討に時間を要してい
る。今後も地元や地権者の理解をいた
だき、意見を大切に汲み入れ、関係機
関との協議を進めながら、検討を続け
たいと考えている。

安全で安心なまちづくりを

問 中川治水対策について、実施に向
けた今後の考え方について伺う。

町長 中川流域の治水対策は、中川調
節池の整備が最良の方策と考えている。
現在は財源等の問題もあり早期の整備
が難しいことから、暫定的に対応でき
る方策を検討している。なお、過去に
浸水被害が発生した地域では、排水対
策等の検討を行いたいと考えている。

問 馬橋川対策の取り組みについて、
町の考えを伺う。

副町長 顧問弁護士と相談した結果、
流水機能確保には、暗渠部分の民有地
購入が必要との見解であったことが
ら、早急に用地買収を進め住民の安心
安全の確保を図りたいと考えている。

高齢者にやさしいまちづくりを

問 循環バスの導入の検討状況および
運行計画について伺う。

町長 現在運行ルート等を検討してお
り、試行運行を来年度の早い時期に実
施できるよう準備していきたい。

問 J R酒々井駅や本佐倉の道路用地
にベンチを設置すべきと思うが。

副町長 利用者の利便性向上に向けて
前向きに検討していく。

問

中学校体育館屋根改修工事の国の交付金額は

答

国庫補助金の内定を受けており対象経費の3分の1を見込んでいます



御園生 浩士 議員

問 平成31年3月議会に提出された「酒々井中学校体育館屋根改修工事」の意見書が賛成多数で可決された。今後の工事の見通しについて伺う。

こども課長 体育館の改修に向け、本定例会に実施設計の補正予算を計上した。実施設計の完成後、できるだけ早期に工事着手できるように努めていく。財源は国庫補助金の内定を受けており、対象経費の3分の1を見込んでいます。



早期の改修が求められている体育館

問 町青少年交流の家の裁判が長期化している。今日までの経過と見直し、そして今までの経費について伺う。

青少年交流の家の裁判の経過と経費は



平成30年から裁判が続いている交流の家

教育次長 青少年交流の家の経過は、平成31年3月7日、4月25日、6月3日に弁論準備手続きが行われ、審議が行われた。また、今回は、令和元年8月19日に弁論準備手続きとして行われることになった。今後は、裁判が繰り返され、判決または和解勧告が裁判所よりなされ、これを受け入れる場合は、議会の議決が必要となる。ただし、内容に不服の場合は、裁判の継続または上訴することになる。経費については、訴訟に係る印紙代、郵便代、弁護士委託の着手金、弁護士委託料で合計153万7千円となっている。

問

町内の河川の現況と整備計画は

答

各河川において対応を検討している



高崎 長雄 議員

問 中川の今後の整備計画を伺う。

町長 中川流域の治水対策は、中川調節池の整備が最良の方策と考えている。現在は財源等の問題もあり早期の整備が難しいことから、暫定的に対応できる方策を検討している。なお、過去に浸水被害が発生した地域では、排水対策等の検討を行いたいと考えている。

問 馬橋川の今後の整備計画を伺う。

副町長 県の是正区域も含まれることから全体の年次計画は示せないが、町としては、最重要課題である暗渠部の閉塞を防ぎ、流水機能を確保することを最優先とし、その解消を考えている。

また、顧問弁護士と相談した結果、暗渠部分は私有地であることから、開渠化を進めるには、用地購入が必要であるとの見解であったので、早急に用地購入を進め、住民の安心・安全の確保を図りたいと考えている。

問 高崎川の管理の方向性を伺う。

経済環境課長 現在、関係機関との協定締結を前提に、現在の管理者である千葉県印旛農業事務所と譲与に向けて協議をしており、今後も引き続き調整を図っていく。

問 江川の整備計画はあるのか、町を考えを伺う。

まちづくり課長 護岸の補修等を逐次実施しているが、整備計画は現在のところ未策定の状況であり、今後検討していきたいと考えている。

町の有害鳥獣の対策は

問 イノシシ対策について、現在の捕獲器の数および今後の対策を伺う。

経済環境課長 イノシシ用の捕獲器は、箱わな1基、くくりわな10個を所有している。今後は、箱わなを新たに購入し出没が相次ぐ地区に設置を予定している。また、新たな対策として新規でわな猟免許を取得する方に対し、免許取得に要する経費の助成や他市で効果を挙げているイノシシ被害防止用電気柵設置事業補助金などを予定している。

問 ハクビシン、タヌキの対策について伺う。

経済環境課長 捕獲用の箱わな20基の貸し出しを行い、捕獲されたハクビシンなどは町において処分している。



教材の印刷をするスクールサポートスタッフ
(写真手前 6月27日から配置)

問 スクールサポートスタッフの今後の配置について町の考えは

答 町内に33人の補助職員等を配置し印刷等の補助員の導入も検討する

問 県教育委員会は昨年9月に過労死ラインゼロを目標に掲げ、学校における働き方改革推進プランを策定した。これを受け町は現状をどのように把握し、どのように改革しようと考えているのか。また、スクールサポートスタッフ等の人的配置の今後の取り組みは。

学校教育課長 教育委員会では、町独自で、特別支援学級介助員や不登校児童生徒への支援・個別の学習サポート、事務処理等の支援をするスクールサポート指導員、個別支援にあたるスクール支援員、外国人の外国語指導助手、



大石 法子議員

さらに学校図書館アシスタント等、嘱託員・臨時職員合わせて33名の職員を配置している。また、昨年度、小学校の英語教育充実のために英語専科教員を町独自に、また、中学校の教員の部活動負担軽減のために部活動指導員を県の補助金を活用して導入している。今後は、印刷や教材作成等の補助にあたるスタッフの導入を考えている。

新生児難聴検査の導入を

問 新生児難聴検査の導入について、町の考えは。

副町長 新生児期の聴覚検査は、早期に適切な援助を開始することで、コミュニケーションや言語発達の面で大きな効果が得られるため、早期の検査が大変重要となる。また、新生児聴覚検査を概ね生後3日以内に実施し、その結果に応じて、生後6か月以内に療育を開始することにより、良好な言語コミュニケーション能力の獲得につながるとされていることから、当町においても、聴覚検査の促進に向けた支援を検討していきたいと考えている。

問 京成宗吾参道駅にエレベーター設置を

答 京成電鉄と連携し乗降客数の増加につなげていきたい



酒瀬川 芳子議員

問 京成宗吾参道駅の乗降者数は。企画財政課長 最近の乗降者数は、2018年度の1日平均乗降者数が2721人となっている。

問 京成電鉄側のエレベーター設置の基準は。

企画財政課長 国土交通省の規定では1日平均利用者数3000人以上となっている。同社も同様の基準である。

問 地域活性化の観点から駅周辺を活性化させ、乗降者数の増加を図るべきと考えるが、今後の計画は。

まちづくり課長 駅への近接性を活かして、周辺住民の生活利便性の向上に資する施設等の誘導や町の魅力のアピールなどにより新たな若年世帯の定住促進を図るとともに、京成電鉄(株)との連携強化により、乗降客数の増加につなげていきたいと考えている。

問 平成30年3月に下岩橋区長、伊藤区長から町長と議長に要望書が出され、議会からも町に対して意見書が提出されたと聞いている。その後の京成電鉄(株)との交渉経過と交渉結果は。

町長 平成30年11月に京成電鉄(株)小林

社長と会談し、トップセールスを行い、地元からエレベーター設置の要望が町へ提出されていることを説明し、エレベーター設置の可能性について検討いただくよう話をさせていただいた。

問 町としての今後の見通しは。

企画財政課長 鉄道管理者である京成電鉄(株)に引き続き意向を確認していくとともに、当駅は成田市の方々の利用も多いことから、例えば成田市と連携し、京成電鉄(株)に対し、連名でバリアフリー化の要望を提出するなど設置に向けた手立て等を検討していく。

生涯生活センターの有意義な活用を

問 この施設を有意義に活用できるようにする活用計画や講習会の予定は。

経済環境課長 現在は味噌作り、落花生煎り、タケノコの缶詰等に限定されているが、多くの人が利用しやすい施設になるよう努めていく。また、講習会等は平成19年度の講習会を最後に開催されていないが、今後、新たな住民団体の利用促進に向け印刷農業事務所等と協議し、開催に向け検討していく。

問 完成はいつになるのか

答 国道296号に接続する町道は令和2年度の完成を目指している



川島 邦彦議員

問 本佐倉城の国史跡指定から20年。周辺整備を含めた今後の計画を問う。

問 ① 整備中の町道の完成見通し、また、東山馬場までの道路計画を問う。まちづくり課長 整備中の町道は令和2年度末の完成を目指している。また、

東山馬場までは、現在優先的に整備を進めている町道の整備状況を踏まえて整備を進めていく計画である。

問 ② 東山馬場エリアの駐車場や施設の完成イメージは。

生涯学習課長 駐車場は碎石を敷き完成した。トイレは水洗を新設予定、詰所はトイレと同棟で考えている。また、倉庫を設置する予定である。

問 ③ 下水道を根古谷地区に延伸する計画はあるのか。

上下水道課長 今年度、本佐倉城跡駐車場付近から上流に約200mの工事を予定している。

問 ④ 城内は建築制限の整備となるが、3D活用等でリアル化、ベンチ等の休憩場、花木の植樹、眺望確保の伐採等で魅力を高めるべきと思うが計画はあるのか。

生涯学習課長 建物等は整備しないが昨年度に観光アプリを導入し場内で当時のイメージ図等が閲覧できるようにした。ベンチ等は整備したいと考えている。植樹等は今後検討していく。樹木の伐採等は必要に応じ実施していく。

問 ⑤ 公有地化予定の向根古谷・荒上地区の面積と指定時期。

生涯学習課長 面積は約7haで指定時期は現時点ではお答えできない。

問 ⑥ 千葉氏まつりについて、継続の有無と城内を会場とする、あるいはイベント開催することの是非は。

生涯学習課長 千葉氏まつりは継続すべきと考えている。場内を会場とするにはトイレ等の施設が整っていないため、現状では難しいと考えている。

問 ⑦ 旧酒々井宿と関連付けるとしているが回遊するには、酒々井小および中央保育園からの坂道を歩道として整備、また、経済効果を生む買い物・喫茶施設としてJ-A周辺を検討すべき。

生涯学習課長 町中に人を呼び込むために関係機関と今後検討していきたい、効果があるものになりたいと考えている。

問 ゾーン30を住民へ周知徹底すべき

答 広報等で周知するとともに路面標示を明瞭化する予定である



佐藤 修二議員

問 当町のゾーン30の取り組みについては、当初、児童の登下校時の方策について佐倉警察署、町、防犯団体の3者の打ち合わせの中で課題となったが、根底に車通行30km規制や抜け道抑制など地域住民の合意形成が必要との条件があり、本格的な取り組みに期間を要した経緯がある。

ゾーン30は住居系地域の生活道路における歩行者の安全通行の確保を目的とし、区域を定めて車通行の最高速度を毎時30kmの規制を実施するとともに、抜け道の抑制、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせる等の生活道路対策である。

実際面では住居系地区の安全性と快適性、利便性の向上を図ることが肝要とされている。当町では東酒々井一、二、三丁目の住民同意が得られた範囲内ですに取り組みが始められており、区域入口の道路面に白いペンキでゾーン30の表示がされ、また、車通行の30km速度規制の交通標識も立てられ本格的なゾーン30への取り組みが見られている。しかし、他方でゾーン30の

区域内に住む住民がゾーン30についての趣旨や内容について理解されていないとの意見も多くあり、町において再度住民への周知徹底を図るべきと思うが見解を問う。

副町長 ゾーン30は、平成30年11月から道路標識や路面標示等の整備が開始され、平成31年1月12日から規制が開始されたが、平成30年12月の広報紙で運用開始に伴う指定区域への道路標識および路面標示などの整備のお知らせや、規制開始後の平成31年1月から町ホームページに規制開始に伴うお知らせを掲載し、周知を図っている。

なお、水道管の布設替えに伴う本復旧を行った後に、車道と路側帯を視覚的に、より明瞭に区分できるよう路面の路側帯両側にグリーンベルトやゾーン30の路面標示にグリーンの枠をペイントするなどの整備を行う予定になっている。

これにより、ゾーン30の規制区域がさらに明確になることから、今後、自治会をはじめ通行車両への周知が図られるものと考えている。

問

家族介護慰労金支給事業の支給要件見直しを

答

現況を注視し検討していきたいと考えている



齊藤 博 議員

問 介護度3から5の方で介護プランを作成していない方は何人か。

健康福祉課長 19人になる。

問 介護サービスの「支給限度額」に対する受給サービスの割合は。

健康福祉課長 厚生労働省の資料に基づき、給付費に対し町が9割、利用者が1割として換算した場合、昨年の12月の居宅分は要介護3が約59%、要介護4が約68%、要介護5が約64%となる。

問 施設入所と在宅介護の区分で介護保険から負担している給付額は。

健康福祉課長 先ほどと同様に換算した場合、昨年の12月分で、要介護3の居宅が約1万6千円、施設が約2万5千円、要介護4の居宅が約2万1千円、施設が2万7千円、要介護5の居宅が約2万3千円、施設が約3万円となる。

問 町民税非課税者の割合は。

健康福祉課長 把握していない。

問 介護プランを作成していない19人には、長期入院の方も含まれており、実際に介護サービスを受けていない方は一桁だと思ふ。町民税非課税者の割合は「紙おむつ事業」を参考にすると6%程度なので、家族介護慰労金を受けられる町民はほとんどいないことになる。「過去1年間介護サービスを受けていない」「世帯全員が非課税」という要件は見直すべきである。

健康福祉課長 本事業の対象要件については、昨年11月に厚生労働省から新たに取扱方針が示されたことから、本年1月より対象要件を緩和し運用している。さらに、要介護3以上の方に対して、紙おむつの支給要件である「市町村民税非課税世帯」を撤廃するなど、在宅介護の負担軽減を図っているところである。さらなる緩和等については、現況を注視し、検討していきたいと考えている。

問 成田市では「介護サービスを受けていない」条件がなく、所得も「市民税16万円以下」であれば対象になる手当が実施されている。在宅介護は施設入所に比べて給付が少ないことから、充実すべきである。町長の認識を伺う。

町長 議員の説は、うけたまわった。

問

感震ブレイカー購入に補助金を

答

導入自治体の効果や動向などを注視しながら調査研究していく



小早稲 美穂 議員

問 今後、予想されている地震災害に備え、感震ブレイカーへの町からの助成・対策について伺う。

総務課長 補助制度の導入は、県内の自治体での導入事例が少ないことから、導入自治体の効果や導入予定の自治体の動向を注視しながら調査研究していきたいと考えている。

公園の設備を防災用に更新すべき

問 公園内老朽化に伴い、設備・遊具・植栽等の管理について、防災・防犯面から伺う。

まちづくり課長 町の防災計画を踏まえ、かまどベンチやマンホールトイレの導入について検討していきたい。また、公園の外から公園内が良く見渡せることが防犯上重要であることから、植栽により見通しの悪い箇所があった場合は、改善するよう剪定等を行う。

より多くの関係機関と災害協定を

問 今後来る災害に備え、トラック協会やタクシー会社、し尿処理運搬会社等との災害協定について考えを伺う。

総務課長 災害に備えて多くの企業や関係機関と協定を結ぶことは重要であると考えている。特に、下水道施設は震災により機能しなくなる可能性もあり、し尿処理運搬会社等と災害協定を結ぶことは有効であり、検討していきたい。

自主防災組織との連携強化を

問 重度災害を想定した防災訓練について町の考えを伺う。

副町長 10月に中央台公園で町主催の総合防災訓練を行う予定となっている。様々な場面を想定した訓練も重要であることから、自主防災組織等と連携した防災訓練も検討していく。

問 自主防災組織について、町の考えを伺う。

総務課長 自主防災組織は、地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動する自発的な組織である。なお、町では、防災資機材等の購入に対して、50万円を限度に補助を実施しているほか、組織の立ち上げや、規約についての相談を行っているところである。

問

循環タウンバス運行について
町の考えは

答

循環バスの試行運行を来年度の
早い時期に準備していきたい



須藤 伸次 議員

問 私 は5年前の一般質問でタウンバスの運行を考えるべきと言った記憶があるが、現在、高齢化がますます進行し、高齢者による交通事故も連日報道されている。免許返納者や交通弱者、学童の通学の支援の一環として、また、交通渋滞を回避するうえでも早急に実施計画の策定を求める。町として何年後から運行を考えているのかを伺う。

町長 現在、近隣市町の情報を収集しながら、買物、通院、公共交通機関への乗り入れ等、当町で導入した場合の運行ルートを想定し、実際に運転した結果を踏まえて、運行ルートをはじめ、運行日、時間帯、回数、方法など、運行計画を検討しているところである。今後、運行計画案等ができたら運輸局、警察署、道路管理者、交通事業者など関係団体等と調整しながら、地域公共交通会議などを経て、循環バスの試行運行を来年度の早い時期を目的に準備していきたいと考えている。

問 伊ノシシ等の捕獲体制強化を
問 昨今、上岩橋、下岩橋、柏木地区

に出没し農作物を荒らしていると聞いている。伊ノシシは年2回出産し、1回に5匹から7匹出産すると言われ、繁殖力が高い動物である。現在町では有害鳥獣を捕獲するための罠が檻1個、くくり罠10個と聞いているが数が少なすぎる。農家や猟友会に任せるだけではなく、町が積極的に関わるべきと思うが、町の考えを伺う。

経済環境課長 今後は、箱わなの購入や農作物の被害対策として伊ノシシ被害防止用電気柵設置に要する補助金を考えている。また、わなの設置について、わな猟免許が必要であることから、猟友会だけでなく町職員のみならず、促進や住民の方がわな等を設置できるように、わな猟免許取得に要する費用の助成制度を考えている。

問 町の有害鳥獣駆除予算が23万2千円では少なすぎる。40万円から50万円ほどに増額すべきと考えるが、町の対応を伺う。

経済環境課長 現在の町猟友会の委託料について、見回り・駆除に要する費用を上乗せし、増額を検討している。

問

馬橋川整備に関する費用総額の
見積りと必要な年数は

答

県の不当残土の是正区域であり
現時点では示せない



白井 則邦 議員

問 馬橋川整備について、費用総額の見積りと必要な年数は。

まちづくり課長 県の不法残土の是正区域であり、総額および年数は現時点ではお示しできない。

問 町が土地を購入しても、県の是正区域は、県の代執行を待つ予定なのか。

経済環境課長 土砂の撤去については引き続き県に要望していく。

問 今後の被害防止のために、町の残土条例を拡張して、3000㎡以上の再生土についても許可制の対象とし、撤去費用を担保するための保証金制度を設ける予定はあるか。



土砂の影響で破損した町道

経済環境課長 総合的に検討しながら今後、改正等を考えていきたい。

子ども用の屋内施設を設置する予定は

問 プリミエール以外に、子どもが集まれる屋内施設を設ける予定はあるのか。

子ども課長 町内には、公園や遊具を設置した遊び場などがあるため、新たに子どもの遊び場となるようなスペースの設置は検討していない。

空き家バンクの設置状況は

問 空き家対策をすることは、快適な住環境の保全、安全で安心なまちの実現、定住の促進に繋がるが、空き家バンクの設置状況は。

企画財政課長 空き家バンク制度を実施していくにあたり、空き家の売買・賃貸、管理等について、千葉県宅地建物取引業協会印旛支部など関係団体等との協議を整え協定を締結するとともに、国等の情報などを踏まえ関係機関等と連携を図ることで、早期に事業化していきたいと考えている。

問

教育環境の整備を 中学校体育館
雨漏り改修工事の完了時期は

答

実施設計完成後、早期に工事着手
できるよう努める



竹尾 忠雄議員

問 国の補助金採択の内示があったと
聞くが完了見通しを伺う。

ごども課長 実施設計完成後、早期に
工事着手できるように努めていく。

問 テニスコート拡張事業は、用地を
取得し平成30年度に設計委託をした
が、工事完了の見通しは。

ごども課長 財源が確保され次第、早
期に工事着手できるように努めていく。

土地の寄付条件を新たに設けるべき

問 町が寄付を受ける際の規定を伺う。

企画財政課長 財務規則で定めてお
り、町の財産として適当と判断した土
地を必要な措置を講じ受け入れている。

問 町が寄付を受ける「デメリット」
を伺う。

企画財政課長 一般的には固定資産税
等の税収がなくなること、また、土地
の管理をすることと言われている。

問 平成30年3月に不動産会社から上
岩橋のヘルシータウンに隣接する山林
(3598㎡)について、町が寄付を
受けた経緯を伺う。

住民協働課長 近隣住民から高木こうばから

の枝落下防止の声があり、旧所有者か
らの寄付申し出により受納した。寄付
を受けた土地は広場として整備する計
画である。

問 今後、寄付の申し出が増えると思
うが、寄付の受け入れを恣意的な判断
で受け、町民の負担にならないよう新
たな規定が必要と思うが、町の考えは。

企画財政課長 付帯条件の有無や土地
の現況等を調査し個別に判断していく。

地域創造発信拠点施設の事業は

問 本年3月に建物が完成したが、事
業目的を伺う。

経済環境課長 特産品のマーケティング
や販売、所得向上の雇用の創出によ
る町内中小企業等の生産性革命を図る
ことおよびイベント等の情報発信、利
用者の町内への誘客、住民活動の商品
化などの場の提供等を予定している。

問 農家が生産した農産物等の販売は
可能なのか。

経済環境課長 大きな規模ではできな
いが、農家の農産物等の販売等は考え
ている。

問

給食の負担軽減で子育て支援を
高齢者の「聴こえ」に対策を

答

国や県の動向や先行自治体の
動向を注視していく



地福 美枝子議員

問 千葉県内の自治体の学校給食費負
担軽減状況と当局の考えを伺う。

学校教育課長 県内では25市町あり、
多子家庭の負担軽減策を取っている自
治体は当町を含めて9市町、全児童生
徒に対する学校給食費の一部補助は2
市、学校給食費の無償化は7町、その
他の7市町は加工賃への一部補助など
様々な方法で実施している。なお、給
食費の無償化は、国や県の支援策等の
動向を注視していく必要がある。

問 負担軽減の対象を第2子までにす
る検討についてとそのための必要額は。
学校教育課長 対象者が613人増え、
試算では年間3885万円必要になる。

問 高齢者の聴こえの対策をすべき

問 高齢者の認知症と「聴こえ」との
関係について町の考えを。

健康福祉課長 難聴になると社会参加
への意欲が減少し、心身の虚弱や認知
機能の低下にもつながるのではないかと
考えている。

問 高齢者すべての人を対象に「聴こ
え」に関して実施調査をしてはどうか。

健康福祉課長 3年に1度、介護予防・
日常生活圏域ニーズ調査を実施し、介
護・介助が必要となった主な原因や外
出を控えている理由についての質問項
目があり、聴こえの状況を把握するこ
とができるようになっていく。

問 健康診断に「聴こえ」の検査を入
れてはどうか。

健康福祉課長 現在実施している特定
健康診査は、生活習慣病を予防するた
めに実施しており、聴覚検査は、特定
健診の趣旨と異なるものと考えている。

病児保育実施に向け課題は

問 実施に向けての検討と課題は何
か。新しくできる病院との協力と要請
についてどうか。

ごども課長 開院予定の(仮称)千葉
の整備が必要であり、現時点での実施
は難しいとの説明を受けている。

健康福祉課長 先行自治体の事例など
を調査研究していく。

子育て支援センター あいあい利用者 に **聞** きました

- ① あなたにとって酒々井町はどんなところですか。
- ② あいあいを利用した感想を教えてください。
- ③ 町および町議会にどのようなことを期待していますか。



みやこし さおり はなか
宮越 紗央里さん 英佳ちゃん

- ①自然が多く、のどかで安全な町。電車が2路線あり便利です。
- ②スタッフの方が親切で居心地がよい。施設もきれいで安心して遊べます。
- ③子育てしやすい町にしてほしい。託児サービスや子どもが遊べる公園等を充実してほしい。



いせざき み そうご
伊セ崎 もえ美さん 壮吾くん

- ①買い物等が便利で自然豊かな町。様々な世代の方が子どもたちを見守ってくれる温かい町。
- ②職員と一緒に子どもの成長を喜び、可愛がってくれる我が家になくてはならない場所。
- ③子どもたちが安全にいきいきと暮らすことができる町にしてほしい。



たかす あやか みおり
高須 綾香さん 望織ちゃん

- ①静かで住みやすく便利な町。初めての子育てでも遊ばせる場所があってよかった。
- ②子どもには、みんなと遊べる楽しい場所。私には、相談や情報交換ができる場所。
- ③安心、安全な子育てしやすい町にしてほしい。保育園等を充実してほしい。

※子育て支援センターあいあいは、就学前の子どもと保護者が交流できる場所で、妊娠期から利用できます。また、子育てコンシェルジュが情報提供や相談に応じる「利用者支援事業」や「ファミリー・サポート・センター事業」を行っています。

場所 酒々井町上岩橋1159 時間 9時～16時 休館日 日曜日・祝日・祭日・年末年始(12月28日～1月4日)
問い合わせ 子育て支援センターあいあい ☎043-290-9790

編集にあたって
一般質問が多く、文字面が多くなりましたが、ご了承ください。新編集委員の合言葉は「手に取ってもらえる議会報告」です。写真の活用等知恵を出します。

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
小早稲美穂	白井 則邦	酒瀬川芳子	須藤 伸次	大石 法子	齊藤 博



あいあいでは色々なイベントが催されています